

株主優待のご案内

株主の皆様へ、日頃のご支援に感謝をこめて、
また当社事業へのご理解を一層深めていただくために、
玄品をお楽しみいただける「優待券」を
進呈させていただきます。

■ 進呈基準	
保有株数(3月末日・9月末日)	優待内容
100株(1単元)以上300株(3単元)未満	2,000円 ご優待券1枚
300株(3単元)以上600株(6単元)未満	2,000円 ご優待券2枚
600株(6単元)以上1,000株(10単元)未満	2,000円 ご優待券4枚
1,000株(10単元)以上	2,000円 ご優待券6枚

- 進呈時期 (毎年6月下旬、12月下旬の年2回)
- 優待内容
- ◎ 優待券は玄品グループ店舗各店の「4,000円(税込)以上のコース」
1人前につき1枚限り、または、優待券同封の「お取り寄せセット」
1セットにつき1枚限り、2,000円(税込)の割引としてご利用いただけます。
- ◎ 玄品店舗では、テイクアウトが可能な「4,000円(税込)以上のコース」にも
1人前につき1枚限り、2,000円(税込)の割引としてご利用いただけます。

■ 玄品グループ店舗
【北海道】札幌すすきの【東京都】浅草 / 池袋 / 上野 / 大森山王 / 神楽坂 (焼 き福 3 階) / 亀戸 / 吉祥寺 / 銀座一丁目 / 銀座新橋 / 国分寺 / 品川大井町 / 渋谷 / 新宿三丁目 / 新宿南 (千駄ヶ谷 焼き福 浅野) / 竹ノ塚 / 中野 / 西葛西 / 練馬 【千葉県】浦安 / 柏 / 千葉 / 本八幡 【埼玉県】大宮 / 川口 / 南越谷 【神奈川県】青葉台 / あざみ野 / 大船 / 川崎 / 桜木町 / 本厚木 / 南林間 / 横浜 / 横浜中華街 【長野県】善光寺口 【愛知県】名古屋錦本町 【大阪府】池田 / 茨木 / 大阪梅田東通 / 大阪北新地 / 北梅田 / 楠葉 / 堺天神 / 新大阪 / 心斎橋 / 吹田 / 天満 / 難波 / 法善寺総本店 / 本町 / 八尾 【三重県】四日市 【京都府】京都烏丸 / 京都祇園 / 京都四条 【兵庫県】伊丹 / 神戸三宮北野坂 / 塚口 / 阪神尼崎
(2025年12月現在)

お取寄せのご利用およびご優待内容の詳細につきましては、
株主様宛に郵送のパンフレット「株主様ご優待券のご案内」をご確認ください。

- 玄品公式ホームページ
https://www.tettiri.com
- 玄品公式通販サイト
https://www.genpinfugu.com

会社概要

株式会社 関門海	KANMONKAI Co.,Ltd.
創 業	1980年9月
設 立	1989年5月 株式会社さかな亭(現：株式会社関門海)を設立
資 本 金	1,000万円
従業員数	166名
所 在 地	【本社】〒580-0041 大阪府松原市三宅東一丁目8番7号 TEL：072-349-0029 FAX：072-349-0023 【東京支社】〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目2番1号 セキネビル4F TEL：03-3525-7129 FAX：03-3525-7128
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場(3372)
U R L	https://www.kanmonkai.co.jp
役 員	代表取締役社長 山口 久美子 取 締 役 大村 美智也 社 外 取 締 役 松下 義行 常 勤 監 査 役 阿井 公宗 社 外 監 査 役 近藤 行弘 社 外 監 査 役 小田 利昭

子会社・関連会社

関門海(上海)貿易有限公司(中国上海市)
KANMONKAI-SG PTE.LTD.(シンガポール)

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
基 準 日	毎年3月31日
株 式 の 売 買 単 位	100株
株 主 名 簿 管 理 人	みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 TEL：0120-288-324
公 告 方 法	電子公告による(https://www.kanmonkai.co.jp) 但し電子公告を行えない場合は、日本経済新聞に掲載する。

株式会社 関門海

第38期 中間事業報告書

2025年4月1日～2025年9月30日

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

今から45年前、大阪藤井寺の地において、創業者 故 山口 聖二は高級食材である「とらふぐ料理」を、世間が驚くようなお値打ち価格で、誰でも手軽にご利用いただける仕組みを創造し、美味で健康的な本物のおいしさを追求するため研究開発に力を注ぎ、現在では国内に留まらず海外でも「とらふぐ」をはじめ、「うなぎ」や「蟹」などを提供させていただくまでになりました。昨今では通販の充実により、全国の方々へ向けて、お店とはひと味違ったふぐの楽しみ方のご提案もさせて頂いております。

45年の永きにわたって続けてくれたこと。究極に美味しい商品を研究開発できたこと。ひとえに、日頃見守っていただいている皆様のご支援、ご理解によって支えられた結果です。感謝しかありません。

上半期4月～9月は、当社主力事業である「玄品」の閑散期にあたるため、厳しい環境下にあるものの、ほぼ全店舗において国産うなぎの販売を行ったほか、京都へ新規店舗を出店したこと等もあり、売上高は前年同期を上回ることができました。また、2025大阪・関西万博のORA外食パビリオン「宴～UTAGE～」にて出店を行い、玄品の魅力を世界中の方々に発信することも出来ました。今後に関しましても、日本の伝統食である「とらふぐ料理」をはじめ、玄品が提供する商品の美味しさを発信し続け、当社事業が皆様の身近な存在になるよう努めて参ります。

お鍋の時期本番を迎え、株主の皆様の期待にお応えすべく、従業員一同、邁進する所存でございますので、引き続き暖かいご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

株式会社 関門海 代表取締役社長
山口 久美子



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要約) (単位:百万円)

資産の部		
	当中間連結会計期間 (2025.9.30現在)	前連結会計年度 (2025.3.31現在)
流動資産	1,766	2,310
固定資産	1,126	1,006
有形固定資産	560	520
無形固定資産	12	13
投資その他の資産	554	473
資産合計	2,893	3,316

流動負債	1,439	1,609
固定負債	346	417
負債合計	1,785	2,027

株主資本	1,115	1,287
資本金	10	10
資本剰余金	656	656
利益剰余金	737	909
自己株式	△ 288	△ 288
純資産合計	1,107	1,289
負債・純資産合計	2,893	3,316

中間連結損益計算書(要約) (単位:百万円)

	※当中間連結会計期間 (2025.4.1～2025.9.30)	※前中間連結会計期間 (2024.4.1～2024.9.30)
売上高	1,891	1,801
売上原価	652	562
売上総利益	1,239	1,238
営業利益	△259	△177
親会社株主に帰属する中間純利益	△171	△121

※上半期は4月～9月のとらふぐ料理の需要が低下する環境にあるため、業績の季節変動があります。

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位:百万円)

	※当中間連結会計期間 (2025.4.1～2025.9.30)	※前中間連結会計期間 (2024.4.1～2024.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△442	△399
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86	397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 169	△ 1,110
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 708	△ 1,108
現金及び現金同等物の中間期末残高	695	915

株式の状況 2025年9月30日現在

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	13,698,753株
株主数	17,568人

※自己株式302,147株を除く

大株主の状況(上位10名) 小数点第3位以下四捨五入

株主名	持株数	持株比率
株式会社椿台	4,198,400	30.65%
サントリー株式会社	698,100	5.10%
田原 久美子	245,800	1.79%
笠井 武史	230,000	1.68%
尾家産業株式会社	220,000	1.61%
楽天証券株式会社	162,300	1.18%
閩門海福株会	158,400	1.16%
吉田 福太郎	135,200	0.99%
小野 秀昭	70,700	0.52%
金子 旺子	55,550	0.41%
山口 晴緒	55,550	0.41%
合計	6,230,000	45.48%
発行済み株式総数	13,698,753	100.00%

(注) 当社は自己株式302,147株(所有割合2.16%)を保有しておりますが、上記大株主の状況には含めておりません。





通販サイトはこちらから。

～ ご贈答にもぴったり！玄品通販の人気商品 ～

(左上)とらふぐ雑炊 フリーズドライ

(右上)玄品 お食事ギフト券

(左下)【国産とらふぐ×生ズワイガニ】ふぐ蟹セット

❖ 株主優待券はご利用いただけません ❖

NEWS TOPICS

TOPICS

1

玄品のブランド戦略

「玄品」はブランド認知度の向上と事業拡大を目指しインバウンド対策の強化と新規事業の立ち上げを柱とする積極的な展開を進めました。まず、国際的な観光地である京都においてドミナント戦略を強化すべく、6月に祇園四条通に「玄品 京都四条店」をオープン。続いて、11月には京町屋の大型店「玄品 京都烏丸店」をグランドオープンすることで京都エリアでの存在感を一層高めました。また、7月に大阪・関西万博の「宴パビリオン」に出店し、万博限定の「とらふぐ飯」を提供するなど、ブランド認知度の向上に貢献しました。また、新たな試みとして、ふぐ料理で培った「ふぐ出汁」のノウハウを駆使した「ふぐおでん」の新規業態に着手。9月のテストランでの成功を受け、翌 10 月には玄品 本町店内にふぐ出汁が隠し味の「おでんカウンター」を正式にオープンしました。これは、ふぐ料理をより身近に感じてもらうための新しい入口として、今後の業態づくりを推進する重要な一歩となっています。



TOPICS

2

社員エンゲージメントの強化

社員がより活力を持ち、高い成果を上げられる環境づくりを目指し、人事制度の見直しや新たな取組みを行い社員のエンゲージメントの強化を図りました。

- ①「業績インセンティブ制度」の改定
：高い成果がこれまで以上に評価され、生産性の最大化に直結するよう、評価基準と還元内容を改訂しました。
- ②「誕生日休暇」の新設
：社員のプライベートの時間を大切にし、リフレッシュを促進するための特別休暇を新たに設置しました。
- ③「縁 JOY レクリエーション」制度の導入
：部署や店舗を超えた交流を福利厚生として支援し、社員間のコミュニケーションの強化を図る仕組みを導入・実施しました。今後もこれらの制度の充足を図り、仕事と生活の調和と全社的な目標達成への意欲向上に努めてまいります。

TOPICS

3

事業拡大と新たな挑戦！大手量販店向け「寿司ネタ加工」へ参入！

外部への販売において、伸長する寿司市場をはじめとする多様なニーズにお応えすべく、「鮮魚の加工販売」を本格的にスタートいたしました。これまでに培ってきた冷凍加工商品の提供実績と確かなノウハウを基盤とし、当社の強みであるとらふぐ等の主力商品に加え、幅広い魚種の仕入れから加工、供給まで自社で一貫対応することが可能になり、取引先様への提案力が飛躍的に向上するとともに、商品ラインナップが大幅に強化されました。

